



クリーンアップ。

ひぬま

Vol.36

2017.9

<http://www.hinuma-network.jp>

ネットワークだより

平成29年度 ひぬま流域クリーン作戦を実施しました

平成29年7月15日(土)、大好き いばらき 県民会議との共催により「ひぬま流域クリーン作戦」を実施しました。当日は、朝早くからの実施にもかかわらず、本ネットワーク会員をはじめ、大好き いばらき 県民会議ネットワーク、涸沼流域の団体・事業所の皆様、さらには地元住民・生徒の皆様など、564名の方々にご参加いただきました。

涸沼自然公園駐車場において、谷萩会長、幡谷大好きいばらき県民会議理事長、茨城町の小林町長の挨拶の後、涸沼自然公園から親沢公園方面コース(約3.5km)、広浦公園コース(約4.0km)、公園外周コース(約3.0km)、今年は新たに若宮方面コース(約4.0km)を設け4コースに分かれて、沿道や湖畔のゴミ拾いと外来植物の除去を行いました。

清掃活動の結果、可燃ごみ160kg、不燃ごみ110kgを回収しました。また、昨年度に引き続き、日本釣用品工業会に協賛いただいて涸沼の水中清掃も行いました。

近年、「あまりゴミが落ちていなかった」という感想が多く寄せられます。これは、クリーン作戦を続けたことにより、ゴミを捨てない意識が多くの方に浸透し、また、ゴミを捨てさせない環境ができてきたのではないのでしょうか。

ご参加いただいた皆様の「美しい涸沼を守りたい」という気持ちが、流域にお住まいの方々はもちろんのこと、県内外から訪れる多くの観光客の方々に届くことを願いながら、今後も涸沼の水質浄化に向けた活動を実践してまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。お忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございました。



開会式



清掃中



水中清掃

ご参加いただいた団体・事業所

(※敬称略・順不同)

- ◆ 大好きいばらき県民会議
- ◆ 日本野鳥の会茨城県
- ◆ 内原くらしの会
- ◆ 大涸沼漁業協同組合
- ◆ 大洗町食生活改善推進員連絡会
- ◆ 大洗地区涸沼浄化対策協議会
- ◆ 大洗くらしの会
- ◆ 鉾田市家庭雑排水推進協議会
- ◆ 常陽ボランティア倶楽部
- ◆ 自然観察クラブ

- ◆ 茨城町水と自然を守る会
- ◆ 株木建設株式会社茨城本店
- ◆ 株式会社ニコン水戸製作所
- ◆ 宇野建設工業株式会社
- ◆ 板橋精機株式会社
- ◆ 茨城県信用組合奥谷支店
- ◆ 茨城ボランティアU.D.監視員
- ◆ 茨城県生活協同組合連合会
- ◆ 東京電力株式会社茨城支店
- ◆ ラムサール条約登録湿地ひぬまの会

- ◆ ユーカリの里
- ◆ はつらつサークル
- ◆ さわやかエコの会
- ◆ イオンタウン水戸南
- ◆ イオンスタイル水戸内原チアーズクラブ
- ◆ イオンリテール株式会社笠間店
- ◆ あいおいニッセイ同和損保保険
- ◆ 茨城町立青葉中学校
- ◆ 茨城町立明光中学校
- ◆ 茨城県立茨城東高校

※ご協力ありがとうございました※

平成29年度 定期総会を開催しました

平成29年度 定期総会
クリーンアップひぬまネットワーク

平成29年度定期総会



水質浄化啓発講演会

あいざきもりひろ

講演会では、島根大学名誉教授の相崎守弘氏から、「潟沼の水質特性—中海・宍道湖と比較して—」というテーマで、汽水湖としての潟沼の特徴や生態系サービスについてご講演いただきました。

今年度は、引き続き以下の事業を実施してまいります。皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

〈平成29年度 事業計画〉

広報啓発事業

- ① 水質浄化ポスターの募集及び展示
- ② ひぬまフォトコンテストの実施
- ③ 広報紙の発行(年2回)
- ④ ホームページの運営
- ⑤ ひぬま環境フォーラムの実施(※11/26(日)開催)
- ⑥ 水質浄化キャンペーン(※流域市町単位で実施)



実践活動事業

- ① ひぬま流域クリーン作戦の実施
- ② ひぬま流域ウォッチングの実施
- ③ 環境イベント等への参加
- ④ 水質浄化功労者の表彰
- ⑤ 一斉清掃活動の実施(※流域市町単位で実施)
- ⑥ 学校における環境学習活動への支援



第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018) 情報

～茨城町がサテライト会場になりました～

平成30年に茨城県で開催される「第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018)」について、会議のテーマやスケジュールをまとめた第1回開催案内書が発行されました。

会議のテーマは「人と湖沼の共生—持続可能な生態系サービスを目指して—」で、生態系サービスを将来にわたって持続的に享受するためには、どのようなことに取組むべきなのかを、住民、農林漁業者、事業者、研究者、行政など湖沼に関わりを持つ全ての人々が、情報の共有、意見交換を行います。

会議は平成30年10月15日(月)～19日(金)までの5日間の日程で、つくば国際会議場をメイン会場に開かれます。また、サテライト会場として、霞ヶ浦、潟沼、千波湖に近接する5市町(土浦市、かすみがうら市、鉾田市、茨城町、水戸市)において、市民団体等と連携した環境関連行事(環境フェスタやシンポジウム等)が開催されます。

案内書には、開催の趣旨や平成7年に本県で開催された第6回世界湖沼会議の成果等も記載されています。市町村環境課で配布及び県ホームページに掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

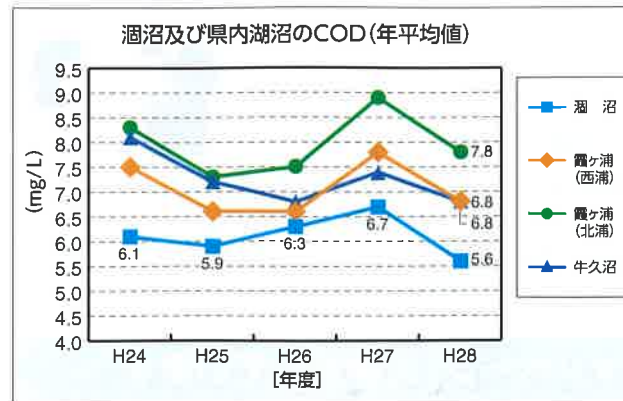


第1回開催案内書

Q1. 「網掛」←何と読む?

A1. 「あがけ」と読みます。

平成28年度潟沼の水質・潟沼流入河川の水質について ～茨城県生活環境部環境対策課～



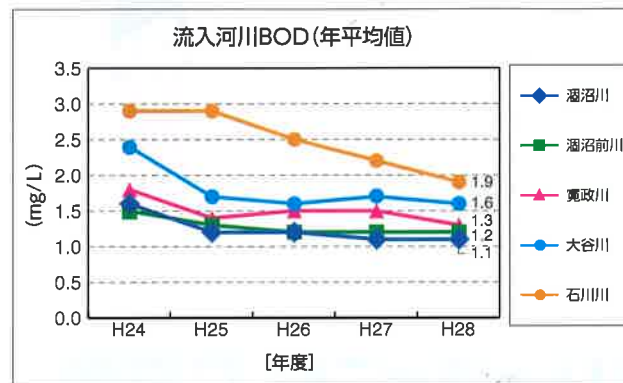
平成28年度の潟沼の水質については、COD(※1)が5.6mg/Lであり、平成27年度と比較すると低下しました。

なお、霞ヶ浦は西浦6.8mg/Lと北浦7.8mg/L、牛久沼は6.8mg/Lでした。

※1 COD(化学的酸素要求量)とは…湖や海の汚れの程度を表す代表的な指標。数値が高いほど、汚れが大きい。

潟沼に流入する主要5河川の水質については、BOD(※2)が寛政川、大谷川、石川川で平成27年度よりも低下しました。

※2 BOD(生物化学的酸素要求量)とは…川の汚れの程度を表す代表的な指標。数値が高いほど、汚れが大きい。



イオンスタイル水戸内原チアーズクラブの取り組み

私たち、イオンスタイル水戸内原チアーズクラブは、環境をテーマに仲間と一緒に楽しみながら「考える力」を育てるクラブです。

テーマは、6年を1サイクルとして毎年変わります。昨年は、動物をテーマに活動しました。メンバーは、小学1年生から中学3年生までならば誰でも参加できるクラブです。学年は、同じでも他の学区を超えた仲間で構成されており、学習することで「学校」や「部活」「塾」にはない、強いつながりを育てています。

昨年は、水戸市内の桜川や逆川と千波湖や潟沼に生息する動物や植物を川や湖の中に入り調べてみました。同じ川の中でも、調べる場所で生き物の違いがわかり、私たちが考えていた以上に変化が起きていることにも気づきました。

また外来種により、今までたくさんいた魚や昆虫、植物が食べられてしまい、水質悪化が進み、昔とは違う種の魚が棲むようになりました。

このような川の中の生き物の変化の原因の多くは、私たち人間がおこしていることであることもわかりました。また、水がきれいになることで魚がまた川に戻ってくることを、桜川のサケの観察会で体験できました。これからは、色々な生物が人を含め助けあいながら、生息できる場所が必要です。そんな環境や自然をいつまでも大切にするイオンスタイル水戸内原チアーズクラブにしていきたいと思います。



桜川中流生き物観察会



活動発表会

水戸内原チアーズクラブ
問い合わせ先

イオンスタイル
水戸内原人事総務課

Q2. 潟沼川周辺には国に指定された有名な史跡があります。その名前は?

A2. 小幡北山塩輪製作遺跡

クリーンアップひぬまネットワーク事業のお知らせ

◆ 第17回 ひぬま環境フォーラム

日にち 平成29年11月26日(日) 午後

場所 いこいの村瀬沼(銚田市)

内容 **第1部**

水質浄化ポスター入賞者表彰式
第11回ひぬまフォトコンテスト
入賞者表彰式
平成29年度水質浄化活動
功労者の表彰式

第2部

水質浄化啓発講演会(是非ご参加ください)
瀬沼浄化推進小学校連絡会議による水質浄化発表
茨城町立葵小学校5年生の児童
(仮題)地域の参加と活性化に生かす「KODOMOラムサール」の力
ラムサールセンター事務局長 中村 玲子氏



「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しています

クリーンアップひぬまネットワークでは、イオングループが実施している「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しております(登録店舗:イオン笠間店)。このキャンペーンは、毎月11日にレジ精算時に受け取った黄色いレシートを、地元ボランティア団体など応援したい団体の投函BOXへ入れると、お買い上げ金額合計の1%がボランティア団体などに品物で寄贈されるものです。

平成29年度は、軍手を贈呈いただき、今年の「ひぬま流域クリーン作戦」(7月15日実施)で活用させていただきました。

ご協力ありがとうございました。



ご協力ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いいたします。

読者プレゼントクイズ

7	1		9				5	6
5	3		1	6			8	9
9	6		3	5	2		1	4
			5	3	9	6		
	7		2					
4	5	9	6	7	8	1	2	3
	4	5	7	2	6	9	3	
	2	6	4	9	3	8	7	
			8	1	5			

「ナンバーナイン」に挑戦

タテの各9列・ヨコの各9行・3マス×3マスの各9ブロックに1から9の数字が重複しないように入ります。4つの□に入る数字の合計はいくつになるでしょうか。

正解者の中から抽選で10名の方に、図書カード(1,000円分)を、5名の方に、「オリジナルエコバック」を、プレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております。

【応募方法】

郵便はがきに、「クイズの答え・住所・氏名・電話番号・メッセージ」をご記入のうえ、下記のネットワーク事務局までお送りください。

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※ 平成29年11月30日(木)の消印有効です。

★前回の解答…ネットワークだよりVol.35ナンバーナインの答えは「22」でした。
たくさんのご応募ありがとうございました。

オリジナルエコバック



読者の声

～みなさまから寄せられたメッセージをご紹介します～

★ 小学校のさく文のしゅくだいで、ひぬまのしぜんについてかきました。「ネットワークだより」をよんで、ひぬまのいろいろなことがわかりました。もっと、ひぬまについて知りたいです。

★ 平成30年10月15日～19日に「第17回世界湖沼会議」が開催される事を知り、世界の人人々に恥ずかしくない様、「美しく自然豊かな瀬沼」のために、微力ながら日々の暮らしを見直して、環境を汚さないよう気を付けていきたいと思いました。瀬沼は自宅からも近いので、マウスに足を運んでみようと思いました。

★ ひぬまの環境を守るため、住民ひとりひとりが知恵を出し合いましょう。身近なところからそして小さなことから。

★ 昨年、笠間市の瀬沼川で鮭をみました。こんな所にままでのほつてくるのだなと感動しました。いろいろな方が瀬沼を守るため努力しているのですね。

たくさんのメッセージ
ありがとうございました!!



■ 発行: クリーンアップひぬまネットワーク事務局

〒310-8555 水戸市笠原町978-6(茨城県生活環境部環境対策課内) TEL 029-301-2968

